



担当課	企画政策課
担当者	前田 滝本
電話	(073) 435-1015
内線	2443

令和5年3月10日



海洋ごみアート「子ども美術館」を開催します!

2019年にSDGs 未来都市に選定された和歌山市は、2030年のあるべき姿を「持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市」とし、SDGsの14番の目標である「海の豊かさを守ろう」を重点ゴールに設定した上で、持続可能な海づくりに取り組んでおり、特に、友ヶ島をはじめ、本市の海岸における海洋ごみ問題の解決に向けて、多様な主体と連携しながら、様々な取組を進めているところです。

この取組の一環として、令和5年3月18日(土)から同年3月21日(火・祝)までの4日間に渡り、海洋ごみアート「子ども美術館」を開催します。

期間中、和歌山市内の小中学生が回収・洗浄した海洋ごみで制作したアート作品の展覧会を開催するとともに、最終日には、子供たちによる成果発表会を開催します。申込不要、入場料無料ですので、是非会場に足を運んでいただき、子供たちの活動の成果をご覧ください。

※同日、子供たちが持続可能な海づくりに関する学習結果を発表する「第3回わかやま海洋サミット」も開催します。

< 詳細 >

(1) 別紙チラシ
又は

(2) 市ホームページ(ページ番号1048844)のとおり。

<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1029316/1044983/1048844.html>

SDGsとは?

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された、2030年を期限とする世界共通の17の目標で、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に、総合的に取り組むものです。和歌山市は令和元年7月にSDGs未来都市に選定されました。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

海洋ごみアート

子ども美術館

入場無料

「子ども美術館」は、子ども達による海洋ごみアートの展覧会。
1年間かけて海洋ごみ問題に向き合った子ども達が、拾い集めた
海岸のごみを材料に作成したアート作品を展示します。

日時

2023年

3月18日(土) ▶ 21日(火・祝)

10:00~16:00 ※最終日(21日)のみ16:30まで

ところ

和歌山県 JA ビル 1階アグリテラス

(和歌山市美園町5丁目1-1)

参加校

- ・和歌山大学教育学部附属小学校 [5・6年F組]
- ・高松小学校 [4年1組、2組、3組]
- ・楠見西小学校 [4年1組、5年1組、6年1組]
- ・雑賀小学校 [5年1組、6年3組]
- ・近畿大学附属和歌山中学校 [1年1組~5組]

主催：和歌山市

《お問い合わせ先》株式会社テレビ和歌山 TEL:073-455-5721 (10:00~17:00 ※土日祝不可)

裏面もご覧ください



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

R5
3.21 [火・祝]
14:00 ~ 16:00

会場 和歌山県 JA ビル2階和ホール

定員 300名 (先着順・申込不要)

参加費 無料

主催 和歌山市

参加校による発表 ~海洋ごみアート制作を通じて~

<参加校>

- ・和歌山大学教育学部附属小学校 [5・6年F組]
- ・高松小学校 [4年1組、2組、3組]
- ・雑賀小学校 [5年1組、6年3組]
- ・近畿大学附属和歌山中学校 [1年(代表者)]

当日子供達の発表に対してゲストからコメントをいただきます



© Ari Takagi

ゲスト: 末永幸歩さん
美術教育者
『13歳からのアート思考』著者

海洋ごみアート「子ども美術館」
小中学生による成果発表会

同日開催

第3回 わかやま海洋サミット
10:00 ~ 12:00

参加校による学習結果の発表

- ・雑賀小学校4年生 「森~川~海 水の旅を通して」
- ・有功東小学校4年風組 「きれいな海をまもり隊~4風の挑戦~」
- ・和歌浦小学校4年生 「磯ノ浦と片男波のごみ調査について」
- ・和歌山大学教育学部附属小学校3年B組 「3B SDGs プロジェクト~海と生き物を救おう~」

